

第73回 北海道放送教育研究大会 第67回 北海道視聴覚教育研究大会

合同大会 函館・渡島大会

-2次案内-

2022年11月5日(土) オンライン開催

〈大会主題〉

心を揺さぶり 主体的・対話的で深い学びを創造する放送教育・ICT教育

〈研究主題〉

**ICTを最大限に活用した
主体的・対話的で深い学びの創造**
～個別最適な学び・協働的な学びの充実を図る授業改善～

〈会場〉

函館市立あさひ小学校（オンライン配信会場）

〒040-0034 函館市大森町6番11号 TEL0138-22-2181

〈大会日程〉

9:30	9:45	10:00	11:15	11:45	12:00	13:00	14:00	15:40	15:45
受付	開会式	基調講演	NHK	研究提言	休憩	授業分科会	実践発表	閉会式	

〈基調講演〉

中川 一史 氏（放送大学 教授）

【主催】

北海道地方放送教育研究協議会 北海道視聴覚教育連盟
NHK函館放送局

【共催】

一般財団法人NHKサービスセンター
一般財団法人日本視聴覚教育協会
日本学校視聴覚教育連盟 全国視聴覚教育連盟

【主管】

道南情報教育研究会ネットワーク

【後援】

内閣府 文部科学省 厚生労働省
北海道教育委員会 函館市教育委員会
北海道小学校長会 北海道中学校長会
北海道私立幼稚園協会 札幌市私立幼稚園連合会
函館市小学校長会 函館市中学校長会 渡島小中学校長会
函館市小学校教頭会 函館市中学校教頭会 渡島公立学校教頭会

※一部申請中

〈授業分科会〉 13:00~14:00

A ルーム	小学校第3学年 体育科 「かけっこ・リレー」	授業者	北海道教育大学附属函館小学校 教諭 菅原 拓	助言者	北海道教育大学函館校 准教授 山口 好和
	活用放送：NHK for school 『はりきり体育ノ介』〈陸上運動～走るに挑戦だ！～〉 活用端末：iPad				
<p>基本的な動きや技能を①局面による姿勢の変化②支持脚と遊脚の関係③腕振りの3点に分けて捉え、児童がNHK for Schoolの朝原さんの動きと自分の動きを比較し、自分に必要な練習を選択することで、調子よく走るための技術の獲得を目指します。</p>					

B ルーム	小学校第6学年 総合的な学習の時間 「シマッタ!やまっこ放送局」	授業者	七飯町立大中山小学校 教諭 神野藤 均	助言者	北海道教育庁ICT教育推進局 ICT教育推進課 主査 山寺 潤
	活用放送：NHK for school 『しまった!～情報活用スキルアップ～』『アッ!とメディア～@media～』 活用端末：Chromebook				
<p>NHK for Schoolの『しまった!～情報活用スキルアップ～』は、ICTを活用した学習場面が分かりやすく動画にまとめられています。自分たちの学びを下級生に伝えられるようにChromebookを活用し、放送番組を参考にした分かりやすい構成の動画で表現することを目指します。自分たちの学びの軌跡をスプレッドシートと動画でポートフォリオにしていきます。</p>					

C ルーム	小学校第3学年 図画工作科 「切っけかき出しくっつけて」	授業者	函館市立港小学校 教諭 阿部 里菜	助言者	函館市教育委員会 指導主事 馬場 一徳
	活用放送：NHK for school 『キミなら何つくる?』〈ねん土でにゅ!秘密基地〉 活用端末：Chromebook				
<p>NHK for Schoolの『キミなら何つくる?』〈ねん土でにゅ!秘密基地〉を活用し、用具の使い方や学習への見通しをもたせます。Chromebookを活用し、作品画像を記録したり、背景に色をつけたりすることを通してシームレスな発表・交流を目指します。</p>					

D ルーム	小学校第3学年 算数科 「表とぼうグラフ」	授業者	寿都町立寿都小学校 教諭 巻 静香	助言者	北海道教育庁ICT教育推進局 ICT教育推進課 主任指導主事 森田 雅彦
	活用放送：NHK for school 『さんすう犬ワン』〈ぼうグラフ使える?～ぼうグラフと表～〉 活用端末：WindowsPC				
<p>NHK for Schoolの学校放送番組『さんすう犬ワン』〈ぼうグラフ使える?～ぼうグラフと表～〉を活用し、目的に合った目盛りの付け方についての理解を深めさせます。その際に、Microsoft WhiteboardやTeamsチャットを活用し、グループごとに話し合いを進めることを目指します。</p>					

〈実践発表Ⅰ〉 14:00~14:45

A ルーム	年少組での番組継続視聴（『ピタゴラスイッチ』）と タブレットの利用	発表者	学校法人 旭川宝田学園 わかば幼稚園 教諭 後藤 優介
本園では30年以上NHKの番組の継続視聴を続けており、年少組では『ピタゴラスイッチ』を視聴しています。また、昨年度よりタブレットを導入し、利用を始めました。本実践では、番組やタブレットを利用した子供の様子を発表します。			
B ルーム	小学校社会科における放送番組を活用した授業実践 おすすめ武将PR合戦！ ～3人の武将について、様々な情報を収集してPRしよう～	発表者	七飯町立大中山小学校 教諭 船橋 昂己
本実践では、全国統一を進めた織田信長、豊臣秀吉、徳川家康について、教科書や資料集、NHK for school『歴史にドッキリ』をもとに情報を収集し、Google スライドにまとめPRし合う授業を展開します。			
C ルーム	1人1台端末環境での指導と評価の一体化 ～CBTを活用した学習評価の在り方～	発表者	北海道教育大学附属函館中学校 教諭 金子 智和
評価すべきことは生徒が学習の中で身につけた資質・能力であり、テストの結果を活かした学習指導を行うことが、目指すべき教育の姿であると考えます。これらのことを実現するためにCBTを活用し、1人1台環境での端末の利活用方法の幅を広げるだけでなく、新学習指導要領の趣旨を実現することを目指します。			
D ルーム	カラダを通して考える、地域の魅力と課題と将来と ～知内高校「地域創生学習」が目指す情報の収集・分析・活用～	発表者	北海道知内高等学校 教諭 三浦 和馬
知内高校1年生が取り組む「地域創生学習」では、地図情報や施設見学を通じて鳥の眼・虫の眼で地域を見つめたり、インターンシップ（職場体験）を通じて得られた地域のよさと課題を、町内関係者向けに報告する機会があります。調査や体験活動の中で生徒の経験に応じた情報活用が行われており、その成果の一部を紹介します。			

〈実践発表Ⅱ〉 14:55~15:40

E ルーム	自由な動画視聴から広がる遊びの世界	発表者	函館カトリック 社会福祉協会 うみの星認定こども園 教諭 杉浦 めぐみ
現在、家庭で簡単にインターネットに触れることができるようになっており、未就学の子どもでも気軽に動画を見ることができています。自由な動画視聴からどのように活動を展開させられるかを発表します。			
F ルーム	ICT（主に Google Workspace）を活用した授業改善の取組	発表者	函館市立あさひ小学校 教諭 函館市立北昭和小学校 教諭 中里 敦 高谷 智史
「身に付けさせたい力を明確にした授業づくり」「筋道立てて説明するなどの言語活動の充実」の2本の柱に基づくICTを活用した実践事例を紹介します。			
G ルーム	オンライン型研究大会とデジタルツールを活用した 数学科の実践授業	発表者	中札内村立中札内中学校 教諭 浜頭 良輔
昨年行われた十勝地区小・中学校放送教育研究大会における運営の概要と、数学科の分科会の内容を中心とした発表を行います。			
H ルーム	生徒主体による〈いじめ撲滅キャンペーン「深中IBC」〉の展開 ～ICTを活用した生徒会活動の一事例～	発表者	函館市立深堀中学校 教諭 函館市立深堀中学校 教諭 小林 元貴 平石 暁史
生徒会活動の〈いじめ撲滅キャンペーン〉。ICTのスキルを最大限に活用し、「深中IBC」を展開してきた成果を紹介します。			

〈基調講演〉 10:00~11:15

新しい学びを拓く ICT の活用

【講師紹介】

放送大学 情報コース・情報プログラム教授 **中川 一史** 氏

【略歴】

1959年北海道札幌市生まれ。横浜市の小学校教諭，教育委員会，金沢大学教育学部教育実践総合センター助教授，独立行政法人メディア教育開発センター教授を経て2009年より現職。専門領域はメディア教育，情報教育。2010年情報化促進貢献で文部科学大臣賞を受賞。



【主な研究テーマ】

国語教育におけるメディア活用の研究，情報教育に関する学習環境の研究，ICT活用指導力育成に関する研究，情報端末環境の教育利用の研究，思考ツールの活用の研究など。

【主な役職・活動など】

教科書研究センター デジタル教科書に関する調査研究委員会（委員長）
内閣府 青少年インターネット環境の整備等に関する検討委員会（座長代理）
文部科学省 デジタル教科書の今後の在り方等に関する検討会議（委員）
文部科学省 GIGAスクール構想に基づく1人1台端末の円滑な利活用に関する調査協力者会議（委員）

【主な編著書】

『フィンランドの教育～教育システム・教師・学校授業・メディア教育から読み解く～』（フォーラム・A企画）
『タブレット端末を活かす実践 52 事例』（株式会社学研教育出版）
『ICTで伝えるチカラ』（フォーラム・A）『タブレット端末で実現する協働的な学び』（フォーラム・A）など。

参加申し込みについて

オンライン開催・参加費無料

右記の2次元コードまたは下記URLから申し込みください。

<https://forms.gle/3zWgrGokrXF6eNvG8>

1. 申し込みフォームにそって，必要事項の記入をお願いいたします。
2. 申し込み確認後，10月21日（金）に大会ログインのパスワードを送付いたします。
3. 『大会紀要・成果号』希望者は，申し込みフォームにて購入希望を選択してください。振り込み口座をメールにてご連絡いたしますので，資料代1000円（送料込み）をお振り込みください。
4. 10月22日（土）より下記大会ホームページにて，動画や資料提供をする予定です。

<https://edu-hakodate.org/diecnetwork/taikai2022/>

申し込み締め切り：10月31日（月）



申し込みフォーム



大会ホームページ

お問合せ

道南**情報教育研究会**
ネットワーク

Mail: taikai2022@edu-hakodate.org

【前日までのお問合せ】

大会事務局長 宮森 仁之（函館市立北美原小学校 教頭）
TEL: 0138-46-1370

【当日のお問合せ】

大会実行委員長 長瀬 雅一（函館市立あさひ小学校 校長）
TEL: 0138-22-2181